

PREX NOW



世界と関西をつなぐ VOL.274

特集：JDS研修(人材育成奨学計画)

若きリーダーたちに、 未来を託す。



JDS付加価値研修

【写真：大阪・関西万博に関する誘致の経緯、行政の役割、運営体制、実施計画などを学び、留学生から多くの質問が出されました。打ち解けた雰囲気で研修初日がスタートしました。】



淡路島の取り組みに興味深々なネパールからの留学生。

自国では経験できない学びを、4日間の日程に盛り込む。

JDS事業とは、開発途上国の若手行政官等を日本の大学院の修士・博士課程に留学生として受け入れる政府の事業です。「付加価値研修」は、大学院の休暇期間を利用して、日本滞在ならではの経験や学び(付加価値)を提供し、自国の政策やプロジェクト立案へのヒントを得ることを目的としています。

PREXは、2021年度より、株式会社日本開発サービスから委託を受けて「付加価値研修」を実施しています。今回は、留学生の専門分野の研究に役立つ内容、行政官として関心が高い内容、自国では経験できない内容を4日間の日程に盛り込むことに苦心しました。

幅広い分野の研修でしたが、留学生から毎回多くの質問が出され、自国の政策を担う行政官としての意識の高さを感じました。台風6号の接近により最終日の日程(北九州市エコタウンセンター訪問)を残念ながら取りやめる結果になりましたが、留学生の期待が大きかったフェリー搭乗(大阪～門司)を実施できたことは幸運でした。(事務局長 武谷)

・JDS(人材育成奨学計画)とは?

政府の「留学生受入10万人計画」の下、1999年度に設立された無償資金協力による留学生受入事業。

英語では「The Project for Human Resource Development Scholarship」、

当初は「Japanese Grant Aid for Human Resource Development Scholarship」としていた経緯があり、略称は「JDS」です。

【研修概要】 研修名:人材育成奨学計画(JDS) 付加価値研修

日程:2023年8月7日～10日 *研修受入期間

参加者:JDS(人材育成奨学計画)で来日した留学生(若手行政官) 3か国31名

参加国:ガーナ、ネパール、エルサルバドル

委託元機関:株式会社日本開発サービス



自国の政策やプロジェクト立案のヒントを得るプログラム。

8月7日

■ 大阪府・大阪市万博推進局

2025年大阪・関西万博に関する誘致の経緯、行政の役割、運営体制、実施計画などを学び万博開催予定地を大阪府庁咲洲庁舎から視察する。

8月8日

■ 兵庫県 淡路県民局

内閣府より地域活性化総合特区に指定され、エネルギーの持続、農と食の持続、暮らしの持続を3本柱として推進する「あわじ環境未来島構想」を学ぶ。

■ パソナ農援隊

農業分野の雇用創造と一次産業の振興により、地域の活性化と持続可能な豊かな社会を実現する取り組みを学び、農業に携わる人を増やすための施設を視察する。

8月9日

■ 鳴門市役所・株式会社TTC

日本独自の「道の駅」を理解し、鳴門市が民間と協力してオープンした「道の駅 くるくるなると」について行政と民間双方の担当者から取り組みを学び、現地を視察する。

■ 大阪港湾局

日本の港湾政策、大阪港の運営状況を学び、さきしまコスモタワー展望台から港湾エリアにおける埋立事業、インフラ整備状況を視察する。

■ 財務省 大阪税関

「スマート税関構想」実現に向けた税関行政の取り組み（課題と対応、テクノロジーの導入具合など）と大阪税関の摘発事例を学ぶ。

農業に携わる方法って、こんなにあったんだ。



農業に携わる人を増やすための新しい取り組みを。

国際交流部の児島です。

プログラムの2日目は淡路島を訪れ、午前中に兵庫県淡路県民局から、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」を3本柱として推進する「あわじ環境未来島構想」についての説明を受けました。午後には、3本柱の1つ「農と食の持続」に関連した取り組みを、更に詳しく学ぶために、パソナ農援隊 代表取締役 田中康輔氏のご案内で、事業の取組みや農家レストラン「陽・燐燐」を訪問しました。

自然の素材で設計されている陽・燐燐の暖かみを感じられる素敵な店内で行った質疑応答や意見交換の時間は大変盛り上がり、留学生にとって非常に印象に残るプログラムとなりました。特に農業分野の雇用創出づくりや、フードロスに対応した、廃棄物のアップサイクルの仕組みについてのコメントが多く寄せられました。ネパールからの留学生からは、「今回のプログラムの中でも学びたいテーマの1つでした。パソナ農援隊が実践している農家レストランのコンセプトは、私にとって最も印象的でした。私の国は農業国であり、この分野を発展させる大きなチャンスがあります。私が政策レベルに携われるようになったら、パソナ農援隊が実践しているいくつかのコンセプトを実行したいと思います」という強い思いを聞くことができました。(国際交流部 児島)





バスの中では、新しい場所や文化についての情報を吸収。

ガーナ銀行→名古屋大学に留学中 アンポンサさん

パソナ農援隊への訪問は、私たちの心に忘れない印象を残しました。農業分野で新たな雇用を創出し、人々の生活を向上させるという精神で社会問題の解決に取り組む同社の姿勢は、ガーナを含むほとんどの開発途上国でまさに必要とされているものです。

多くのことを学ぶことができ、教育的なプログラムすべてに感謝しています。プログラムはタイムリーで洞察に富んでいました。コースワークを終えてガーナに戻ったとき、何をすべきか、また何を避けるべきか、よりよく理解できるようになりました。私の同僚たちも、私と同じような思いを共有していると思います。このエキサイティングな冒険を与えてくれたPREXと日本開発サービスに心から感謝しています。



エルサルバドル中央アメリカ大学→国際大学に留学中 ペルラさん

このプログラムは本当に素晴らしい、日本を理解するための総合的な体験をすることができました。講義を通して得られる情報と、実際にその場所に行って現地の専門家と話すという体験が混ざり合い、忘れられないアプローチで新しい知識を学びました。この研修は一瞬一瞬が活動的で、バスの中の時間でさえ、PREXと日本開発サービスの熱意と新しい場所や文化についての情報でいっぱいでした。このプログラムを手間をかけて入念に準備していただいたことに感謝します。



ネパール内務省→立命館大学に留学中 ダミさん

PREXは、私たちに充実した学びを届けてくれる架け橋のような存在です。今回の研修では、地域の資源を効率的に活用し、持続可能な社会を目指す取り組みを学ぶことができました。



ネパール首相大臣府→国際大学に留学中 カフレさん

今回の研修は単なる思い出にとどまらず、各行政の計画、政策を学び、都市や地域への理解を深めることができました。また、日本の自然や文化を楽しみ、2025年の万博にむけて熱い想いを持つ素晴らしい人々と共に過ごした貴重な機会でした。





万博の“ワクワク感”を共有していただきたい！

大阪府 万博推進局 儀典課の北本です。JDS「付加価値研修」では、2025年大阪・関西万博の概要や、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けて、万博会場を「未来社会の実験場」に見立てて取り組む、「空飛ぶクルマ」をはじめとする様々な事業を紹介しました。

また、会場へのアクセス整備や機運醸成など、地元自治体としての取組みについても紹介しました。現職の行政官である留学生の皆さんからは、「大阪府市万博推進局」という共同設置組織を設け、文字通り一体となり万博の成功に向けて取り組んでいるという行政組織の体制について、特に高い関心が寄せられました。

留学生の方から、「2年後、また大阪に戻ってきて、ぜひ万博に参加したい」との声もかけていただきました。ぜひ、本国の皆さんに大阪・関西万博をPRいただき、万博の“ワクワク感”を共有していただければと思います。

(大阪府・大阪市 万博推進局 儀典課 課長代理 北本 治氏)

PREXの人材育成は、未来へのタイムカプセル！

PREXの人材育成は未来へのタイムカプセルのようだ。

将来、留学生との再会がカプセルを開く時である。

今回、各国の留学生と接して、国や文化の違いを越えて鋭い観察眼と問題意識を持つ人に感銘を受けた。

どこかでカプセルが開くのに立ち会う人を今から祝福しておきたい。

(大阪府 府民文化部 国際交流監 一坂 浩史 氏)





**自分が海外で学んだように、
今度は私が学びをサポートしたい。**

リアルな現場では、柔軟な対応力が問われる。

今回研修を一緒に担当した児島職員は、入局3年目。

PREXで一番若い元気あふれる職員です。

「日本にいては決して見ることのできない風景やその国の食べ物、そして異なる文化に魅力を感じ、国際的な知識を身につけたい」との想いを持って入学した大学では、1年時に米国 ポートランド州立大学 短期留学、2年時には韓国慶北大学での長期留学を経験。公益財団法人 日本国際民間協力会(NICCO)でのインターンシップでは、ヨルダンで暮らすシリア難民の越冬支援業務(現地3ヶ月間滞在)に携わる一方、国内チャリティマラソンイベントでは参加者集め(広報)や、当日の備品手配、イベント開催の許可取り、予算管理等、責任を伴う業務を経験しました。

今回のJDS「付加価値研修」では、フェリーでの移動がありましたが、台風接近もあり、現場での対応力が求められました。委託元や今回協力いただいたJTBの方々と連携し乗り切った児島職員は、研修に参加した留学生から「“You did a great job.”」というコメントをいただきました。児島職員にとって、数か月かけて作り上げてきたプログラムを認めてもらえたことは、個人的にとても印象に残る研修となったようです。

これまでの研修対応でもコースリーダーの大学教授から「秀逸なファシリテーション」と高い評価をいただく一方、一年を通じ大阪府の「地域経済コンシェルジュ養成研修」に参加し、更なる自己研鑽に取り組んでいます。人を育てるPREXの事業を通じ、自らも育っていく向上心を常に忘れず、「参加者に満足いただけるプログラム作りに尽力したい」との想いを胸に邁進しています。(国際交流部 小河)

NEWS &TOPICS

PREXの研修ノウハウを提供する機会が増えています。日本開発サービスから委託されたJDS「付加価値研修」もその一つ。それぞれの大学では学べないことを現場を訪問し学べることがPREX研修の特徴です。日本独自の取り組みや、行政との連携など、自国で生かすヒントが盛りだくさんです。皆様ぜひご一読を!
ご意見・ご感想もお待ちしています。E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp

「ユニクロ VS しまむら」の財務諸表に現れる経営戦略の違いは?

関西学院大学 Global Career Seminar in Japanフィールドスタディにおいて、半日のフィールドスタディプログラムに協力しました。講師 廣瀬益三氏より2大アパレル企業(ユニクロとしまむら)に見る経営戦略と財務諸表についてご講義いただきました。関西学院大学学生20名とカナダ4大学学生16名が参加しました。



レポートは
こちらから

8月~10月に実施した主な研修

●JICA持続可能な観光地域づくりの人材育成
ラオス、モルディブ、パプアニューギニア、ドミニカ共和国、
ヨルダン、エジプト、チュニジア、マラウイ、モザンビーク、
セネガル、セルビア、北マケドニア共和国、アゼルバイジャン
13カ国 の観光振興を推進する関連省庁等の職員
計13名が参加。

●ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)
経営塾(ホーチミン第17期)

VJCC経営塾参加者および日本センター職員の
計22名が参加。

●立命大 経済学部研究科博士課程(前期)

留学生向け夏期研修

キルギス・ウズベキスタン・タジキスタンのJDSプログラム
留学生10名が参加。



研修レポートは
こちらから

「えるぼし」の3つ星認定を取得しました。

PREXは、女性活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良な法人として、厚生労働省より「えるぼし」の3つ星(3段階目)認定を取得しました。



モンゴルで研修員と再会! バイルッラー!(※モンゴル語 ありがとう)



2023年夏休みにモンゴルを訪問された有限会社安久工機の田中隆代表取締役。

安久工機を8年前に訪問した当時の研修員たちが集まってくれたそうです。



田中氏の
コラムは
こちらから

阪南大学からPREXへの インターンシップ。



8月21日~9月1日、阪南大学 国際コミュニケーション学部の2名が、PREXでのインターンシップに参加しました。研修事業の準備や同行を通して途上国の人材育成事業業務を体験。「働くことの意味」や「将来の選択肢」が見えたそうです。PREX紹介の動画も作成しました。



インターンシップのレポートは
こちらから

PREX NOW第274号(2023年11月発行)
編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター
専務理事:岡本 譲
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850
ウェブサイト:<https://www.prex-hrd.or.jp>
E-mail:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp
企画制作:ユナイテッド・トゥモロー